

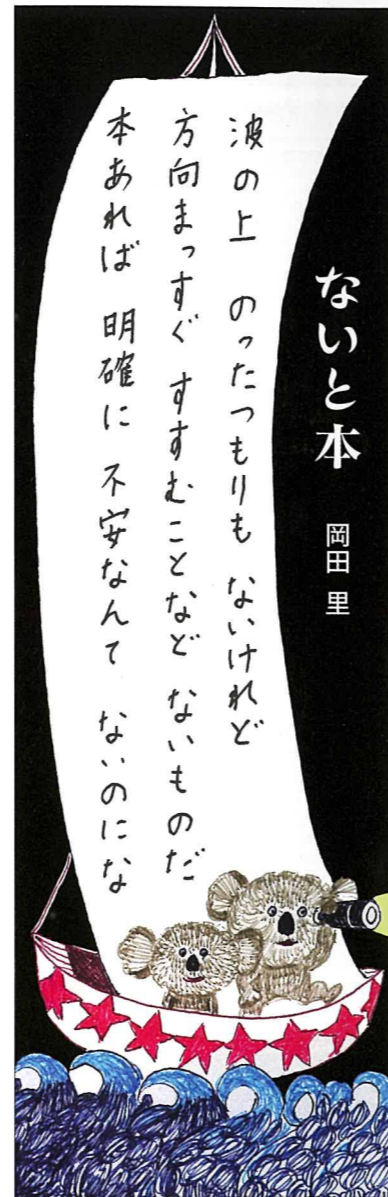
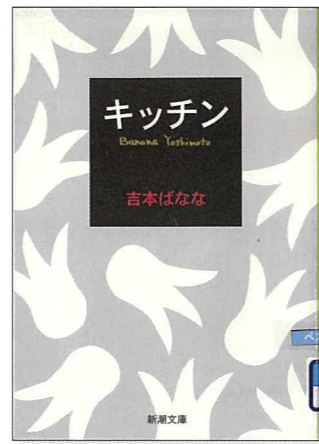
図書館からこの一冊

『キッチン』

吉本ばなな 著 (新潮社)

主人公みかげが一番好きな場所は台所です。唯一の肉親だった祖母が亡くなった時も突然一緒に暮らすことになった雄一親子の家でも台所のそばで寝ています。誰かのために料理をふるまったり、自分のために黙々と作ったり、彼女の周りにはいつも美味しそうな湯気が立ち昇っています。食べることは生きることに繋がるのに、なぜか物語は「死」という言葉が何回も出てきます。深い悲しみからリセットされるためにみかげが取った行動に注目です。ちなみにこの本をきっかけに私はかつ丼が大好きになりました。今でも自分をリセットするときは食べています。

(サービス担当・岡田)



文字を読むことが困難な方向けに、読書をサポートするサービスがあります。

これまで楽しみだった読書がめんどうになったり疲れやすくなったりした方は、次のサービスを利用してみてください。千代田図書館では、どなたでも利用できる「大活字本」や区の広報紙などを読み上げた「音声CD」、文字を拡大して読める「拡大読書器」を設置しています。また、身体の障害などにより読書が困難な区内在住・在勤・在学の方には、音訳者が図書館の本や新聞などを対面でお読みするサービスや、本を読んだ声を録音したCD「デージー図書」と専用プレイヤーを貸し出しています。ぜひご利用ください。

※詳しくはお問い合わせいただくか、図書館ホームページ（音声読み上げ機能あり）をご覧ください。



大活字本コーナー

▼拡大読書器



ご利用案内

■ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp>

■Facebook <https://www.facebook.com/lib.chiyoda>

**千代田図書館**  
千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階 ☎03-5211-4289・4290  
開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00  
日・祝・12/29～12/31 ▶10:00～17:00  
※夏期は9:00開館  
休館日 第4日曜日、1/1～1/3、特別整理期間  
アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅 4・6番出口より徒歩5分

**昌平まちかど図書館**  
千代田区外神田3-4-7 ☎03-3251-5641  
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00  
休館日 第2日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

**神田まちかど図書館**  
千代田区神田司町2-16 ☎03-3256-6061  
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00  
休館日 第3日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

**千代田Web図書館**  
URL <https://www.d-library.jp/chiyoda> ※電子書籍の貸出サービス

**日比谷図書文化館**  
千代田区日比谷公園1-4 ☎03-3502-3340 (代表)・3343 (図書フロア)  
開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00  
日・祝 ▶10:00～17:00  
休館日 第3日曜日、12/29～1/3、特別整理期間

**四番町図書館**  
千代田区四番町1 ☎03-3239-6357  
開館時間 月～金 ▶9:00～20:00 土 ▶9:00～19:00  
日・祝・12/29・30 ▶9:00～17:00  
休館日 第1日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

**関連施設**

<p>ちよだパークサイドプラザ 区民図書室 千代田区神田和泉町1 ☎03-3864-8931 開館時間 月～土 ▶9:00～19:00 日・祝 ▶9:00～17:00 休館日 第3日曜日、年末年始、特別整理期間</p>	<p>千代田区男女共同参画センター MIW 千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F ☎03-5211-8845 開館時間 月～金 ▶9:00～21:00 土 ▶9:00～17:00 休館日 日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間</p>
---	---

# 千代田図書館

千代田区立千代田図書館情報誌

さあ、図書館にいこう。

Vol. 31

Check

本にまつわる情報をお届け!  
「ちよびたブログ」

千代田区読書振興センターがお届けする「ちよびたブログ」は、図書館の最新トピックをはじめ、本にまつわるイベントや本の紹介、季節の話題などを毎月5回更新しています。読書振興センターのスタッフやコンシェルジュが、写真とともに楽しい情報をお伝えしていますので、ぜひアクセスしてみてください。

【URL】<http://chiyoda-dokusho.jp/>



通話可能エリアをご利用ください。

スマートフォンや携帯電話で通話される時は、エレベーターホールの通話可能エリア付近をお願いいたします。また、館内ではマナーモードに設定いただきますようご協力をお願いいたします。

■場所：9階エレベーターホール内

Information

展示ウォール

としょかんのこしょてん100回記念

図書館からはじまるぶらり旅 まるごと神保町

前期：1月28日(月)～3月23日(土) / 後期：3月25日(月)～5月25日(土)

2007年からスタートした神田古書店連盟との連携展示「としょかんのこしょてん」は、ついに100回目の開催を迎えます。それを記念し、今回は館内の展示エリアを存分に使い、本の街・神田神保町の新旧多彩な古書店や古書店主のおすすめ本、神保町のまちの魅力を紹介します。展示をみて神保町や古書に興味を持ったら、一緒に展示する本を手にとってみてください。展示期間中には、神保町のいろいろな顔を知ることができる関連イベントも開催します。図書館とまちを探索して、神保町と古書を取りまく素敵な体験を楽しんでください。



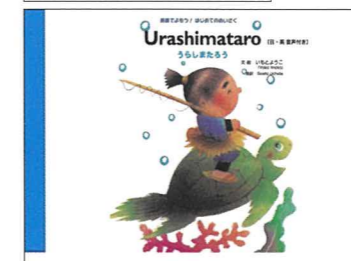
▲神田神保町風景

イベント

千代田Web図書館講習会  
「スマホやタブレットで  
絵本を読んでみよう!」

3月14日(木)11:30～約30分  
10階=子ども室 ※申込不要

千代田Web図書館は、電子書籍を閲覧・貸出できるサービスで、パソコン・タブレット・スマートフォンで読むことができます。講習会では、音声付き絵本や英語読み上げ機能がある絵本など、千代田Web図書館に所蔵している絵本を紹介します。



赤ちゃん向けおはなし会

毎月第2木曜日 11:00～11:30 10階=子ども室  
※申込不要

みんなで楽しめる絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行います。お子さんと保護者だけでなく、妊婦さんもお越しください。



ほかにもイベントを多数開催!  
詳しくはホームページで。



# 千代田区にある国指定重要文化財

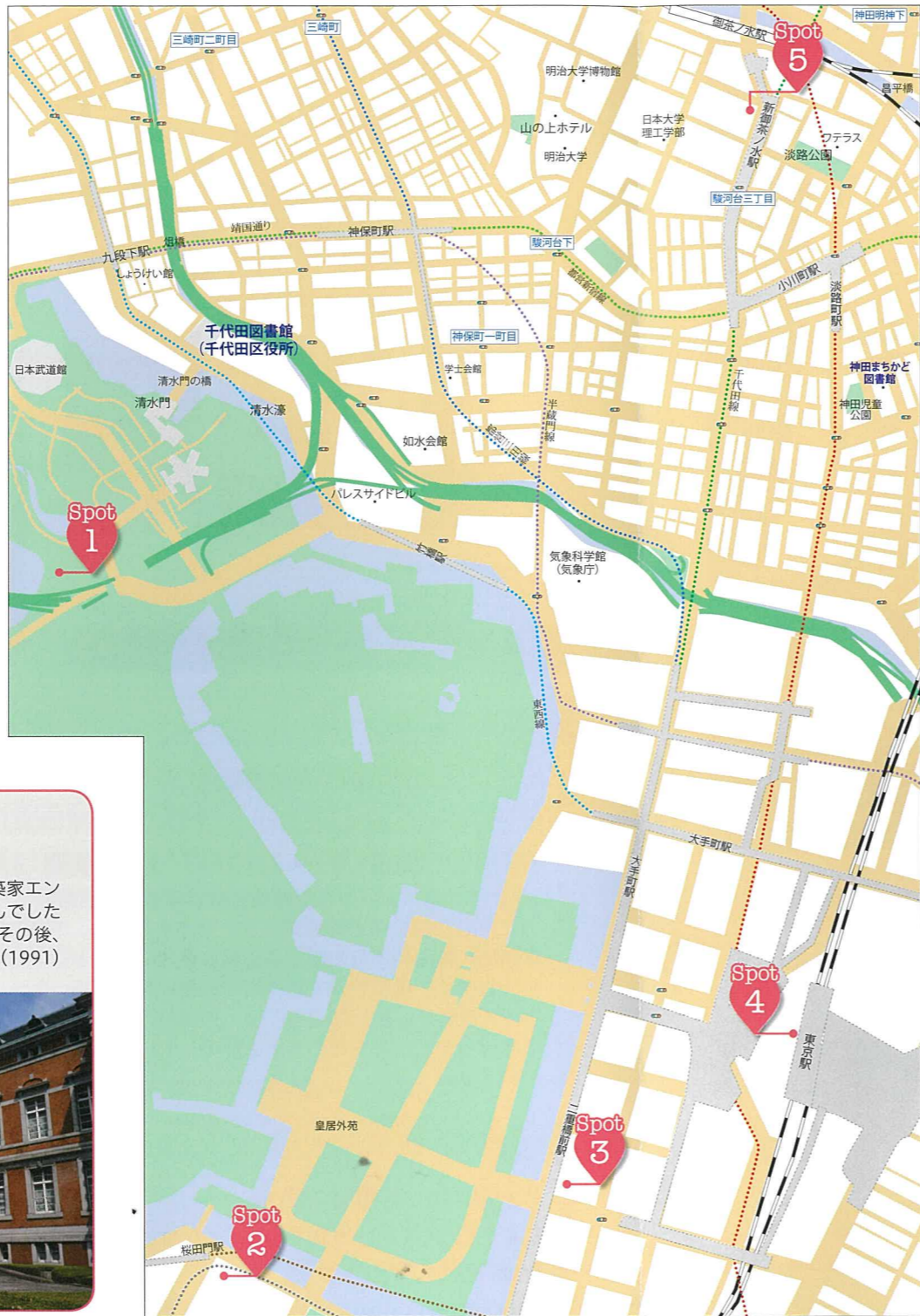
千代田区には、江戸・東京の歴史や文化を伝える文化資源が多数あります。今回は、国指定重要文化財となっている建物を5つ紹介します。いずれも近くで見ることができる建物なので、ぜひ足を運んでみてください。

## Spot 1 旧近衛師団司令部庁舎

【住所】北の丸公園1-1



陸軍技師の田村鎮の設計により、近衛師団司令部庁舎として明治43年(1910)3月に竣工しました。れんが造2階建て、正面中央の玄関部に八角形の塔屋をのせ、両翼部に張り出しがある簡素なゴシック様式の建物です。昭和47年(1972)10月に外壁、玄関および階段ホールが重要文化財に指定されました。その翌年から谷口吉郎の設計により保存活用工事が行われ、屋根は震災後に変わった棧瓦葺から建設当初のスレート葺きに還元されました。中央の階段回りとホールの部分は、当時の姿を残しているといわれています。昭和52年(1977)に東京国立近代美術館工芸館として生まれ変わりました。



## Spot 2 法務省旧本館

【住所】霞が関1-1-1

明治28年(1895)竣工。明治政府の官庁集中計画の一環で招聘されたドイツ人建築家エンデとバックマンが設計に携わりました。関東大震災ではほとんど被害がありませんでしたが、昭和20年(1945)の空襲でれんがの壁と床、骨組みを残して焼失しました。その後、改修されて昭和25年(1950)から法務省本館として利用されました。さらに平成3年(1991)から平成6年(1994)にかけて復原工事が行われ、創建当時の姿を取り戻しました。建物は、本格的なドイツ・ネオバロック様式を用いた外観が特徴です。れんが造3階建て、屋根はスレート葺、外壁は赤れんがを基調とし、要所に白い石材を用いています。現在、法務省赤れんが棟3階には、明治の雰囲気を残す「法務史料展示室・メッセージギャラリー」があり、「司法の近代化」と「建築の近代化」に関する展示などを行っています。



## Spot 3 明治生命館

【住所】丸の内2-1-1

東京美術学校(現東京芸術大学)教授の岡田信一郎の設計です。同氏が昭和7年(1932)に急逝したため、設計に携わっていた弟の捷五郎が引き継いで昭和9年(1934)に竣工しました。鉄骨鉄筋コンクリート造の地上8階地下2階建てです。列柱が建つ外観や顧客用の大空間があることなどが特徴で、明治期以降に洋風意匠を取り入れた典型的な古典様式を備えた近代の西洋建築を代表する建物です。

戦後すぐから昭和31年(1956)7月18日まで、アメリカ極東空軍司令部としてGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に接収され、対日理事会(ACJ)の会場として使用されるなど、昭和の激動を乗り越え、平成9年(1997)に昭和期の建築物として初めて国の重要文化財に指定されました。1階店頭営業室、2階会議室・応接室・食堂などの諸室は一般公開しています。



## Spot 4 東京駅丸ノ内本屋

【住所】丸の内1-1-3

大正3年(1914)創建の東京駅丸ノ内本屋は、明治を代表する建築家・辰野金吾が設計した鉄骨れんが造りの建物です。創建当時の建設では、杭打ちや鉄骨を建てる作業以外の大半が職人による手作業で行われました。昭和20年(1945)の空襲により、屋根などを焼失し、戦後の再建時に3階建てから2階建てに修復されました。平成19年(2007)から平成24年(2012)10月にわたって行われた保存・復原では、外部建具以外は当時の仕様や工法を採用し、漆喰や擬石塗などの左官や銅板葺の板金技能などを活かしています。また、3階部分も復原され、創建当時の姿を取り戻しました。



写真提供：一般社団法人千代田区観光協会

## Spot 5 日本ハリストス正教会教団復活大聖堂(ニコライ堂)

【住所】神田駿河台4-1

日本ハリストス正教会大主教ニコライが建設を企画した正教会の聖堂で、明治17年(1884)3月から24年(1891)2月にわたって建設されました。原設計はシチュールポフ、実施設計はコンドルによるものです。日本最大級のビザンチン様式の教会堂で、平面は十字形で、中央にドームが架けられました。大正12年(1923)の関東大震災で、大聖堂のドームは崩落し、土台とれんがが壁のみを残して焼失しました。昭和2年(1927)9月25日から、岡田信一郎の設計による復興工事が始まり、昭和4年(1929)11月30日に新しい聖堂が竣工しました。平成4年(1992)から平成10年(1998)で新たに修復工事が行われ、外壁や聖堂内のシャンデリアなどが復元されました。現在は礼拝時間以外にも聖堂見学ができます。(有料)



## ◆図書館バックヤード◆

千代田図書館のコンシェルジュが、千代田区のまち案内の一環として、あるテーマに関連する本やスポット、豆知識などをまとめ、年6回発行している『千代田図書館コンシェルジュの見聞調録』をご存じですか？



この見聞調録は、約10年間で50号以上作成しています。毎号そのときの話題や注目的人物、千代田区に点在するさまざまな情報からテーマを定め、そのテーマに関することを調べるための本やWebサイト、実際に訪れることのできるスポットなどの情報を、A4サイズの紙両面に収録しています。



もちろん調べるところから印刷まですべてコンシェルジュが行います。最近作成したもののテーマは「夏目漱石ゆかりの街」「千代田区の鉄道について知る」「神社探訪～千代田区開運めぐり～」などです。図書館の本を読んだり、現地へ行って調べたりと調査を行い、情報をまとめています。



見聞調録を読破したら、読みたい本や豆知識も増え、まち歩きが楽しくなります。プリントを館内配布しているほか、ホームページにも掲載していますので、ぜひ気になるテーマから読んでみてください。

下記ホームページと資料で千代田区の名所・旧跡について知ることができます。

■千代田区の文化財ホームページ  
【URL】<http://edo-chiyoda.jp>

■『千代田区文化財マップ』  
(千代田区立日比谷図書文化館文化財事務局発行 / 2013年発行)  
※区役所2階の情報コーナーのほか、日比谷図書文化館1階のライブラリーショップ & カフェ日比谷と4階の文化財事務局で購入できます。(50円)

